

◆ 今週のコメント (感染地域、感染経路については推定を含みます。)

- ・ アメーバ赤痢(腸管アメーバ症)の報告が1例(40歳代女性)あり、本年の累積報告数は19例となりました。
- ・ カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が2例(ともに70歳代男性)(第49週追加報告分1例含む)あり、本年の累積報告数は43例となりました。
- ・ 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が4例(70歳代男性, 10歳未満, 70歳代及び90歳代女性)(第49週追加報告分1例含む)あり、本年の累積報告数は72例となりました。
- ・ 百日咳の報告が5例(10歳未満及び60歳代男性, 10歳未満(2例)及び10歳代女性)(第49週追加報告分2例含む)あり、いずれも感染地域は国内です。本年の累積報告数は80例となりました。
- ・ 風しん(臨床診断例及び検査診断例)の報告が2例(ともに40歳代男性)あり、本年の累積報告数は12例となりました。

◆ 今週のトピックス:<感染性胃腸炎>

京都市における感染性胃腸炎の定点当たり報告数は3週連続で増加し、8.16(351例)となりました。全国では9週連続で増加しています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類:結核 7例(肺結核 2例, その他結核 4例, 潜在性結核感染者 1例)うち喀痰塗抹陽性 2例
【1月以降の累積報告数 327例(肺結核 148例, その他結核 78例, 潜在性結核感染者101例)うち喀痰塗抹陽性 76例】
- ・ 五類:アメーバ赤痢 1例【1月以降の累積報告数 19例】
- ・ 五類:カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 2例【1月以降の累積報告数 43例】
- ・ 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 4例【1月以降の累積報告数 72例】
- ・ 五類:百日咳 5例【1月以降の累積報告数 80例】
- ・ 五類:風しん(検査診断例及び臨床診断例) 2例【1月以降の累積報告数 12例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ ^a	インフルエンザ	0.83	57
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	8.16	351
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.56	67
	③ 水痘	0.67	29
	④ 手足口病	0.49	21
	⑤ 伝染性紅斑	0.44	19
眼科	流行性角結膜炎	0.40	4

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:<感染性胃腸炎>

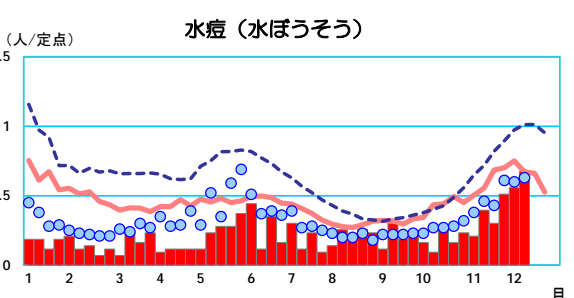
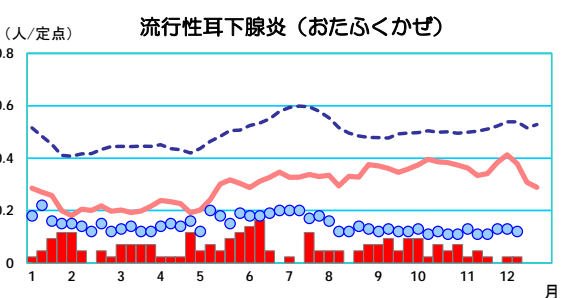
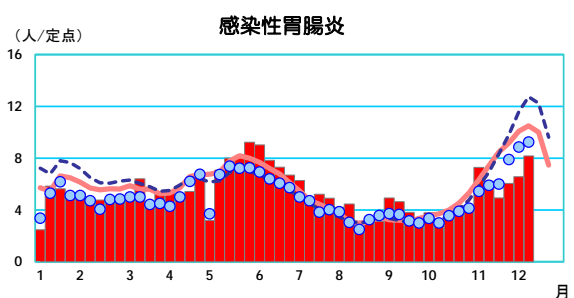
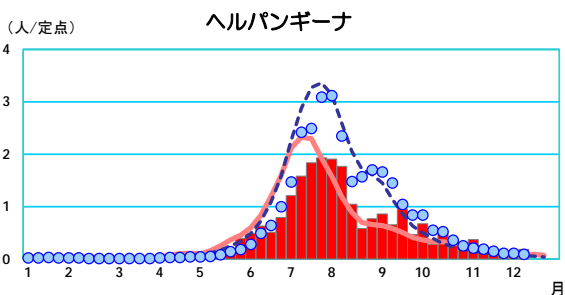
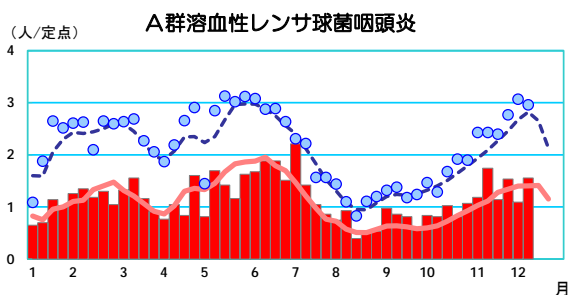
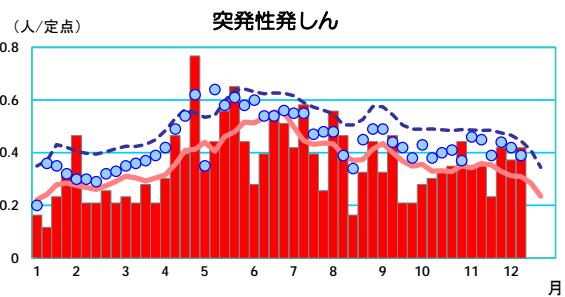
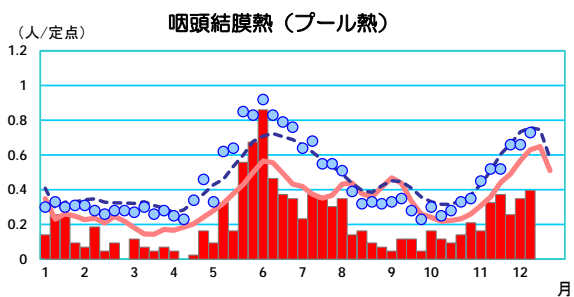
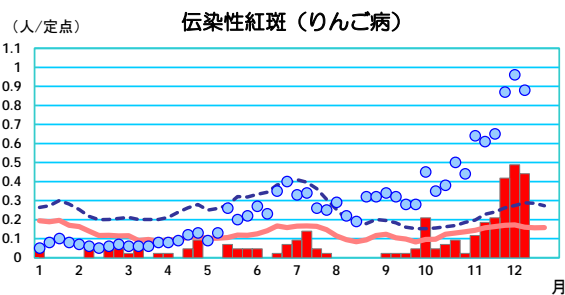
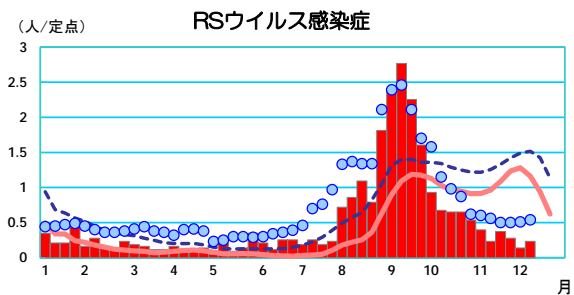
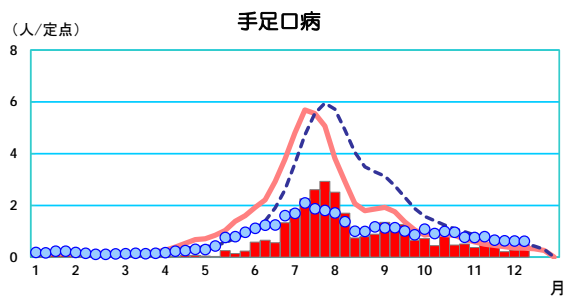
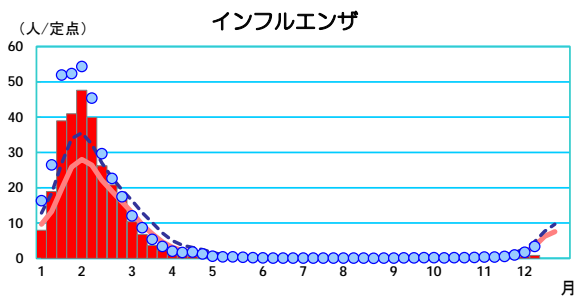
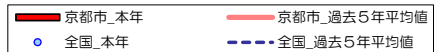
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは、平成30年12月19日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。

また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成30年）



第50週(12月10日～12月16日)トピックス: <感染性胃腸炎>

京都市及び全国の発生動向

京都市における感染性胃腸炎の定点当たり報告数は3週連続で増加し、8.16(351例)となりました(図1)。全国では9週連続で増加しています。本疾患は感染症発生動向調査事業における小児科定点把握疾患であるため、京都市で報告された患者の直近5週分の年齢階級別割合をみると、どの週も14歳以下が約9割を占めているのは当然ですが、中でも6歳以下の割合が非常に高く、全体の約7割程度で推移しています(図2)。このため、とくに保育施設などの集団感染には十分な注意が必要です。

感染性胃腸炎の原因は多種多様ですが、冬季は主にノロウイルスによる感染が原因であるといわれています。実際に全国の過去4シーズンのノロウイルスの検出数をみると、どのシーズンも12月頃に検出のピークを迎え、3月頃まで流行が続いています(図3)。

症状及び予防

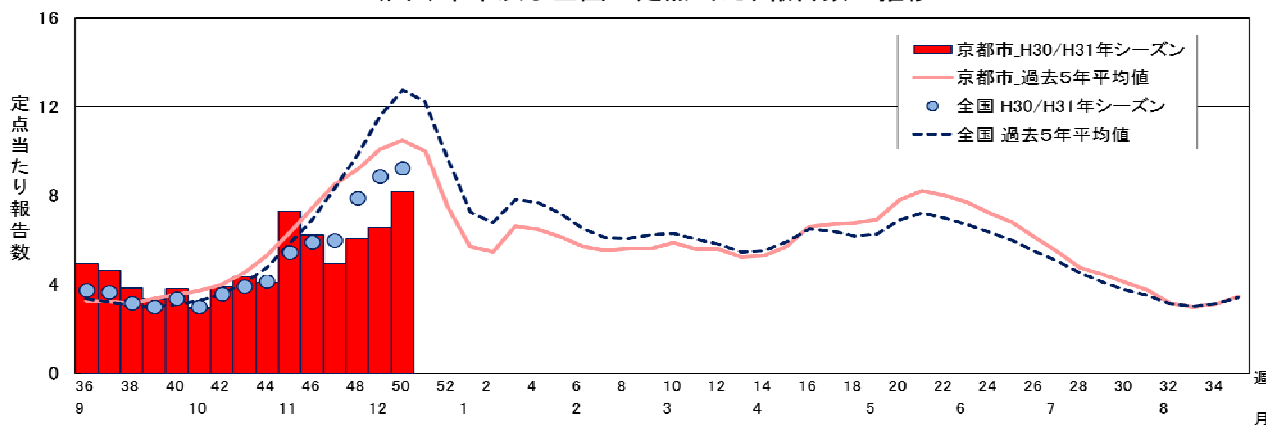
ノロウイルスによる感染性胃腸炎の症状は、主に吐き気、おう吐、下痢、腹痛等です。潜伏期間はおおむね24～48時間で、発症後1～2日で軽快します。感染しても発症しない場合や、軽い風邪のような症状の場合もあります。しかしながら、体力の弱い乳幼児や高齢者が感染すると、脱水症状を起こしたり、おう吐物を誤嚥することによる誤嚥性肺炎を引き起こすこともあり、注意が必要です。

感染経路は経口感染であるため、予防には手洗いの励行が最も重要です。またノロウイルスに対しアルコール消毒剤は効果がないため、家族等に患者が生じた場合、汚物の処理やトイレ等の消毒には塩素系消毒剤を使用してください。京都市では感染性胃腸炎について、以下のホームページでさらに詳しく紹介していますので御参照ください。

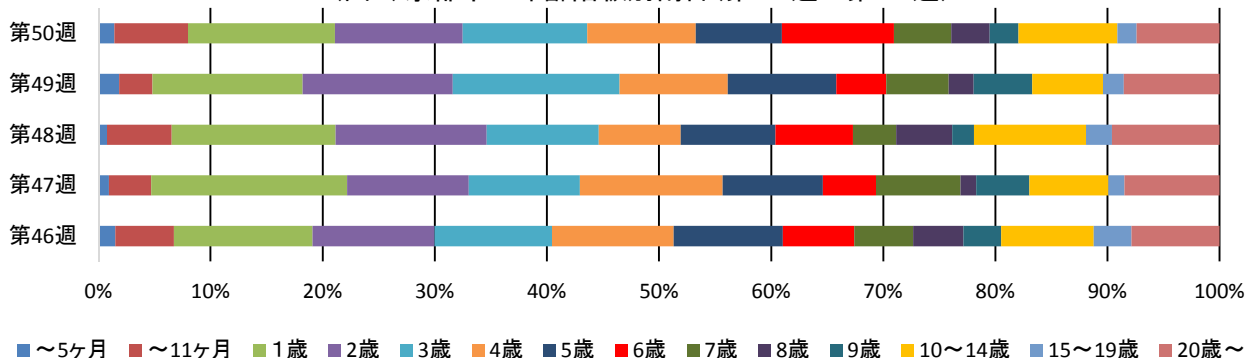
○京都市情報館「感染性胃腸炎に注意！！」

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000046226.html>

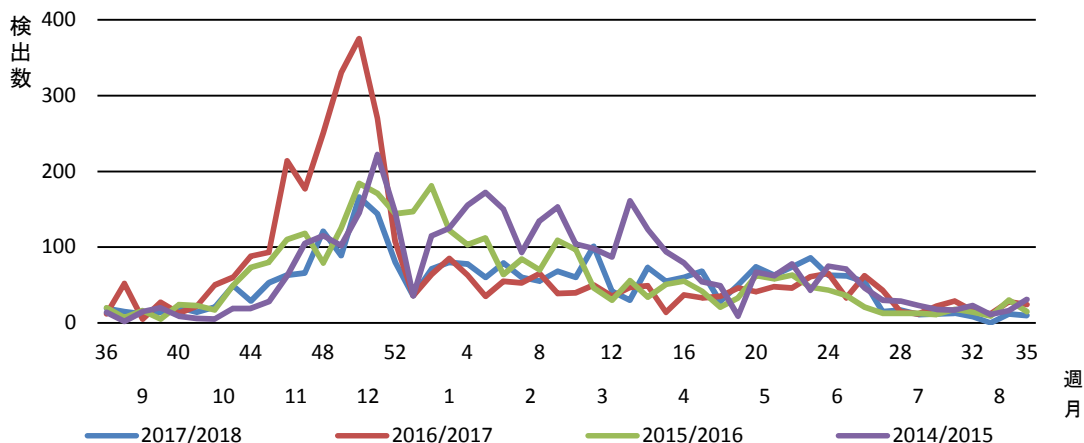
(図1)本市及び全国の定点当たり報告数の推移



(図2)京都市の年齢階級別割合(第46週～第50週)



(図3)全国のノロウイルス検出数推移(過去4シーズン)(国立感染症研究所)



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第50週

疾病,行政区別報告数

平成30年12月10日～平成30年12月16日

データ入手日:平成30年12月19日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																			
北	3	-	1	2	5	-	-	-	-	-	-	-	3						
上京	6	2	3	3	9	2	-	1	1	-	-	-	-						
左京	5	3	1	8	65	3	-	1	-	-	-	-	-						
中京	4	3	1	6	14	4	-	-	-	-	-	-	-						
東山	7	-	-	2	24	1	2	1	-	-	-	-	-						
山科	1	1	-	6	16	1	4	3	3	2	-	-	1						
下京	2	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	11	-	3	10	24	4	-	2	1	-	-	-	-						
右京	6	-	4	19	38	8	3	2	3	1	-	-	-						
伏見	10	-	1	9	109	3	10	5	7	5	1	-	-						
西京	2	1	3	2	43	3	2	4	3	-	-	-	-						
京都市計	57	10	17	67	351	29	21	19	18	8	1	-	4	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																			
北	0.43	-	0.25	0.50	1.25	-	-	-	-	-	-	-	3.00						
上京	1.20	0.67	1.00	1.00	3.00	0.67	-	0.33	0.33	-	-	-	-						
左京	0.71	0.75	0.25	2.00	16.25	0.75	-	0.25	-	-	-	-	-						
中京	0.80	1.00	0.33	2.00	4.67	1.33	-	-	-	-	-	-	-						
東山	2.33	-	-	1.00	12.00	0.50	1.00	0.50	-	-	-	-	-						
山科	0.14	0.20	-	1.20	3.20	0.20	0.80	0.60	0.60	0.40	-	-	1.00						
下京	0.67	-	-	-	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	2.20	-	1.00	3.33	8.00	1.33	-	0.67	0.33	-	-	-	-						
右京	0.75	-	0.80	3.80	7.60	1.60	0.60	0.40	0.60	0.20	-	-	-						
伏見	0.91	-	0.14	1.29	15.57	0.43	1.43	0.71	1.00	0.71	0.14	-	-						
西京	0.25	0.20	0.60	0.40	8.60	0.60	0.40	0.80	0.60	-	-	-	-						
京都市計	0.83	0.23	0.40	1.56	8.16	0.67	0.49	0.44	0.42	0.19	0.02	-	0.40	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第50週

年齢階級, 疾病別報告数

平成30年12月10日～平成30年12月16日

データ入手日:平成30年12月19日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上							
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ (※1)	年齢1	57	-	1	2	2	2	3	1	4	1	-	4	7	2	5	3	2	7	3	2	6	
RSウイルス感染症	年齢3	10	1	3	2	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		17	-	2	5	4	3	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		67	-	1	3	1	1	12	13	10	5	7	2	8	1	3	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎		351	5	23	46	40	39	34	27	35	18	12	9	31	6	26	-	-	-	-	-	-	
水痘		29	-	3	2	-	-	2	2	3	3	6	1	5	-	2	-	-	-	-	-	-	
手足口病		21	-	-	11	2	1	2	2	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
伝染性紅斑		19	-	-	-	1	2	6	3	3	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
突発性発しん		18	-	5	9	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ		8	-	1	5	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎		1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流行性角結膜炎	年齢2	4	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1		
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ (※1)	年齢1	0.83	-	0.01	0.03	0.03	0.03	0.04	0.01	0.06	0.01	-	0.06	0.10	0.03	0.07	0.04	0.03	0.10	0.04	0.03	0.09
RSウイルス感染症	年齢3	0.23	0.02	0.07	0.05	0.02	-	-	-	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.40	-	0.05	0.12	0.09	0.07	0.02	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.56	-	0.02	0.07	0.02	0.02	0.28	0.30	0.23	0.12	0.16	0.05	0.19	0.02	0.07	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		8.16	0.12	0.53	1.07	0.93	0.91	0.79	0.63	0.81	0.42	0.28	0.21	0.72	0.14	0.60	-	-	-	-	-	-
水痘		0.67	-	0.07	0.05	-	-	0.05	0.05	0.07	0.07	0.14	0.02	0.12	-	0.05	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.49	-	-	0.26	0.05	0.02	0.05	0.05	0.02	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.44	-	-	-	0.02	0.05	0.14	0.07	0.07	0.05	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.42	-	0.12	0.21	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.19	-	0.02	0.12	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.02	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	年齢2	0.40	-	-	-	-	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	0.10	-	0.10	
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第50週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成30年12月19日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	13	13	22	27	38	57
RSウイルス感染症	17	10	16	12	6	10
咽頭結膜熱	7	14	16	11	15	17
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	51	75	49	66	47	67
感染性胃腸炎	313	267	212	260	282	351
水痘	9	17	13	22	24	29
手足口病	16	21	20	9	12	21
伝染性紅斑	5	8	9	18	21	19
突発性発しん	15	15	10	18	16	18
ヘルパンギーナ	16	8	3	5	3	8
流行性耳下腺炎	1	2	1	-	1	1
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	4	4	4	1	3	4
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	467	454	375	449	468	602

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	0.19	0.19	0.32	0.39	0.55	0.83
RSウイルス感染症	0.40	0.23	0.37	0.28	0.14	0.23
咽頭結膜熱	0.16	0.33	0.37	0.26	0.35	0.40
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.19	1.74	1.14	1.53	1.09	1.56
感染性胃腸炎	7.28	6.21	4.93	6.05	6.56	8.16
水痘	0.21	0.40	0.30	0.51	0.56	0.67
手足口病	0.37	0.49	0.47	0.21	0.28	0.49
伝染性紅斑	0.12	0.19	0.21	0.42	0.49	0.44
突発性発しん	0.35	0.35	0.23	0.42	0.37	0.42
ヘルパンギーナ	0.37	0.19	0.07	0.12	0.07	0.19
流行性耳下腺炎	0.02	0.05	0.02	-	0.02	0.02
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.40	0.40	0.40	0.10	0.30	0.40
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	11.05	10.75	8.84	10.28	10.78	13.81

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。